

■戦っているから……

世界には、30万人以上もの子どもの兵士がいるとされる。軍隊に誘拐され、無理やり兵士として戦わせられている子どもや、戦争で両親が死んでしまい、独りぼっちになってしまったために自分から軍隊に入った子どもなどがいる。軍隊にいれば仲間ができるし、毎日食べるものがある。また、子どもは大人の言うことを素直に聞き、死ぬことを恐れることがわからないため、兵士にさせられてしまう。

■学校がない……

地域に学校がなかったり、家からとても遠かったり、通学する道があぶなかったりして、通えないこともある。学校があっても、屋根がなかったり、電気がなかったり、机や黒板がなかったり。教科書はぼろぼろ、ノートもえんぴつもない。先生の人数も少なく、とても勉強できる環境ではないことが多い。

■おなかがすいているの……

多くの開発途上国では食べる物が十分になく、子どもたちはいつもおなかをすかせている。長い間雨が降らなかったり、洪水がおきたりして、十分な農作物がとれないからだ。外国から食べ物を買おうにも、国が貧しく買うことができない。

いつもおなかをすかせた子どもたちは、病気にかかりやすく、元気がない。学校へ行く体力も気力もなくなってしまっている。

■仕事や手伝いがあるの……

学校に行けない子どもたちの親は、とても貧しい。家族が生活していけるだけの収入がないため、子どもたちも働かなければならない。生活のために働いてお金をもらっている子どもは、世界におよそ2億5000万人いるとみられている。

子どもたちはカーペットやサッカーボールの工場などで、1日12時間以上も働き続けている。また、ごみの山の中に入り、ガラスやカンなど売れるものを見つけて、わずかなお金を得ている子どももいる。危険な場所だったり、無理な姿勢を続けたりするために、体をこわす子どもも多い。

働いている親のかわりに、幼いきょうだいの世話や家事をしている子どもたちもいる。一番大変な仕事は水くみだ。家に水道がないため、遠い井戸や川まで水くみにいかなければならない。水をくむのに、1日かかってしまう。

■病気なんだ……

食べ物やきれいな水がないところの子どもたちは、下痢などの病気になるやすい。薬を飲めばすぐに治ってしまうような病気で、治療を受けられずに死んでしまう。

アフリカを中心に大きな問題になっているのは、エイズだ。世界では毎日1,700人の子どもが新たにHIVに感染している。エイズで親を失った子どもは、世界に1500万人おり、その10人に8人はアフリカに住んでいる。

親を失った子どもは学校をやめて家族を養ったり、差別をうけて学校に行けなくなったりしてしまう。

学校へ行っていない子どもの地域別割合

